

## 地域人材ネット

### 実のある交流で日本一（自称）の棚田の里のむらづくり

沢畑 亨 （ さわはた とおる ）

水俣市久木野地域振興会 水俣市久木野ふるさとセンター「愛林館」館長



#### ○ 登録者情報

##### 所在地

熊本県水俣市

##### 略歴

1988年 東京大学農学系大学院林学専攻修士課程を修了。農学修士。  
同年 西武百貨店に入社。池袋店の食品部企画課に勤務し、北海道物産展などを担当  
1989年 西武百貨店を退社。今井俊博氏と「熱帯文化研究開発機構」を創設し、コンサルテーション・執筆・編集などの活動を行う。  
東南アジア諸国(タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア)を頻繁に訪れる。  
1994年 愛林館の館長に全国公募で選ばれ現在に至る。

##### 【役職など】

- ・水俣市環境審議員 (1995/4～)
- ・熊本県地域づくりコーディネーター (1998/4～)
- ・熊本県水の達人 (2003/10～)
- ・農林水産省 環境相談員 (2004/7～)
- ・熊本県林業普及指導協力員 (2005/11～)
- ・熊本県ふるさと・水と土指導員 (2005/4～)
- ・熊本県自然ふれあい指導員 (2005/4～)
- ・総務省地域活性化伝道師 (2008/7～)
- ・球磨川・不知火海流域圏学会監事 (2005/12～)
- ・熊本大学講師 (2000/4～)
- ・熊本学園大学非常勤講師 (2007/9～)
- ・熊本保健科学大学非常勤講師 (2009/4～)

#### 【受賞】

- ・毎日新聞「毎日自治大賞」奨励賞（1997/2）
- ・肥後の水資源愛護基金「肥後の水資源愛護賞」（1999/7）
- ・国土緑化推進機構「九州地区緑化功労賞」（1999/11）
- ・総務省「過疎地域自立活性化優良事例」の総務大臣賞（2005/10）
- ・熊本県「緑化功労者賞」（2006/3）
- ・棚田学会「棚田学会賞」（2006/9）
- ・全国育樹活動コンクール「国土緑化推進機構理事長賞」（2006/9）
- ・財団法人信友社「信友社賞」（2006/10）
- ・肥後の水資源愛護基金20周年記念「肥後の水資源愛護賞 特別賞」（2006/10）

#### 著書・論文等

- ・「森と棚田で考えた」水俣発や山里のエコロジー（不知火書房発行・2006/12）
- ・『『こげんとでよかつたいな』『つぎはあの料理ば出す』おいしい久木野の家庭料理大集合！』（農山漁村文化協会発行・増刊現代農業2004/8所収）
- ・「愛林館の『田助手（たすけて）』『棚田のあかり』『食べる棚田保全』（農山漁村文化協会発行・増刊現代農業2007/8所収）
- ・「食の地元学による地域づくりと都市農村交流」（農山漁村文化協会・農村文化運動2007/7所収）
- ・「森と農地と台所の一体感を体得 日本初『棚田食育士』養成・食育実践講座」（農山漁村文化協会発行・増刊現代2008/2所収）
- ・「リッチな上流階級の暮らし」（全国土地改良事業団体連合会発行・季刊「新・田舎人」に2007/8～2009/8に連載）
- ・「水俣 久木野の里から」（毎日新聞熊本版・2006/1～2010/3に連載）
- ・「沢畑流 ブラックツーリズム講座」（ナインフィールド発行・季刊「九州の食卓」に2012/5より連載中）

### ○ 実のある交流で日本一（自称）の棚田の里のむらづくり

#### 取組の内容

愛林館を拠点として、

- 1 食（特産品の製造販売、レストラン、手作り体験、家庭料理を持ち寄り味わう家庭料理大集合等）
- 2 環境教育（棚田保全のための会員制による大豆耕作団、各種研修会、石垣積み教室、ボランティアとの植林・下草刈り、炭焼き等）
- 3 田舎暮らしを楽しむイベント（棚田コンサート、しし鍋マラソン大会、棚田のあかり等）

などを行っています。山村の味方を増やすため、観光客としてもてなすだけでなく交流は相互に利益を得ており、リピーターも多いです。グリーンツーリズム、食育などの手法で、地域の暮らしに詰まった知恵を楽しみながら伝承しています。



自然素材の炎で飾る棚田のあかり  
-撮影者 田中健太郎



農作業する権利を使う  
大豆耕作団の会員

## 実績

ボランティアの造林としては日本最大級となる21haもの照葉樹を順調に育成中です。森づくりに関わった人は約1,000人にのぼります。

在来品種の香り米「万石」を商品化し、1kg当たり2,000円で年間約400kgを販売しています。

立地に恵まれません、香り米も含め、農産品や加工品の売上高は年間約700万円あります。各種研修や体験には全国から年間約1,700人が訪れ、研修費の売上は約200万円になっています。

沢畑は大学の講義も含め年間70回を超える講演を行い、約8,000人に対して山村や棚田の公益的機能について訴えています。水俣病のイメージのみが強かった水俣において、環境のまちづくりや美しい棚田の地域としてのイメージを深めることができました。

## 工夫した点や苦労した点

労働力が不足する山村において、交流に訪れる人間を労働力として役に立ってもらいたいので、そういった方々に作業を教える技術を磨きました。

作業をする社会的な意味を十分に説明し、参加者には使命感・達成感・実利を得てもらっています。



棚田を作り上げる石垣積み教室



ボランティアで育てた

## ひとことPR

棚田を作り上げる石垣積み教室  
過去2000年と同様、今後2000年この久木野地区に人が暮らし、棚田と森を守っていくことが愛林館の活動の目的です。そのために、山村や棚田の公益性を理解して、もう少し山村の暮らしを社会で支援すべきであるという世論を作りたいと考えています。将来は木材も食料も不足することは明らかであるから、それまで何とか木材と食料の生産力を保持したいものです。



料理を並べて眺めて味見する  
家庭料理大集合

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	○	10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

愛林館	<a href="http://airinkan.org">http://airinkan.org</a>
水俣久木野だより	<a href="http://www2.ocn.ne.jp/~tanada/">http://www2.ocn.ne.jp/~tanada/</a>
グローバルプラットフォームジャパン 平成17年度地域づくり総務大臣表彰	<a href="http://www.g-platform.jp/chiiki/topchiiki_h17.htm">http://www.g-platform.jp/chiiki/topchiiki_h17.htm</a>

### 連絡先

メールアドレス	<a href="mailto:airinkan@atmark.giga.ocn.ne.jp">airinkan[アットマーク]giga.ocn.ne.jp</a>	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る